（学校用）

南相馬市立上真野小学校

平成３０年度全国学力・学習状況調査結果について

１　実施日　平成３０年　４月１７日（火）

２　調査対象　第６学年児童１７名

３　調査内容

（１）教科に関する調査（国語Ａ、国語Ｂ　算数Ａ、算数Ｂ）

Ａは主として「知識」に関する問題、Ｂは主として「活用（知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力）」に関する問題です。

（２）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

４　調査結果

（１）教科に関する調査

国語Ａ（主として知識に関する問題）、国語Ｂ（主として活用に関する問題）、算数Ｂ（主として活用に関する問題）、理科の正答率は、いずれも、全国平均を下回りました。算数Ａ（主として知識に関する問題）の正答率は、おおむね全国平均と同程度でした。

（２）児童質問紙調査

成果が見られた項目

○地域活動でボランティア活動に参加したことがありますか。
○家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか。
○問題の解き方がわからないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか。
○問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか。
○理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか。

課題が見られた項目

●毎日、同じくらいの時間に寝ていますか。
●新聞を読んでいますか。
●算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。

５　学力向上の取り組み

今回の調査結果では、国語の「書くこと」「読むこと」に関する問題、算数の活用力に関する問題、理科の知識に関する問題に課題が見られました。昨年度から、授業への取組に意欲の高まりが見られ、基礎的・基本的な学習内容の確かな定着を中心とした授業を進めてきましたが、今後は、多様な考えに触れ、検討したり、吟味したりする活動を通して、知識・技能を活用する力を身につけさせるために、次の２点について重点的に取り組んでいきます。

・話し合い、学び合いを通じ児童生徒相互に啓発するような授業を設定する。
・目的に応じて資料を読み取り、話したり、書いたりする学習活動を多く設定する。

６　保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点を家庭や地域の方々にご協力をお願いいたします。

〇家庭学習について
　・集中して学習できる環境づくりと規則正しい生活習慣づくり
〇読書について
　・家庭で読書する習慣づくりと新聞に多く触れる機会づくり
〇地域行事等への参加
　・進んであいさつすることの呼びかけと地域行事への積極的な参加によるふれあい。